

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
1	B-02001634	男性	1歳	25mg	アミノフィリン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキソール オキサミド ブランルカスト水和物 エリスロマイシン コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム	興奮	回復	気管支炎のため入院、酸素テント収容。朝よりやや興奮傾向あり。インフルエンザ予防のため、夕方から本剤を投与。本剤投与後、一日中声を出して騒ぐ状態であった。本剤服用5日目、投与中止。翌日興奮回復しその翌日退院となる。	異常-1	
2	B-05000689	女性	1歳	39 mg	セフジトレンピボキシル アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペビジン カルボシステイン ジアセバム	激越	軽快	4日前から発熱し、感冒薬を投与するも解熱せず受診。確定検査でインフルエンザAと診断。急性肺炎を危惧し、感染予防薬と共にリン酸オセルタミビルを投与。2回投与後に解熱するが、興奮状態で泣きわめく。翌朝本剤内服後歩行ふらつき状態。午後目覚めてから号泣、異常な興奮状態。ジアセバム投与し、本剤の投与を中止した。2日後に軽快、睡眠良好。	異常-2	
3	B-05022379	男性	1歳	20mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 低体温	回復	本剤2回投与後に低体温発現。その後、異常行動発現（急に走り出して変な姿勢で止まる）し、入院となり経過観察となる。入院中に異常行動なし。翌日、低体温回復し、退院。異常行動も回復。	異常-3	
4	B-06025418	女性	2歳	17.5mg	メロペナム三水和物 塩酸ツロブテロール トラネキサム酸 カルボシステイン 酒石酸アリメマジン ヒベンズ酸チペビジン セネガ 耐性乳酸菌製剤(2) 維持液(3)	異常行動 激越	回復 回復	体温41℃。インフルエンザA型治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。服用約30分後、異常行動、興奮状態発現。ベッド欄に頭をガンガンぶつける。翌朝、本剤服用。本剤のんで30分ぐらいから、気嫌が悪くなり、頭をベッド欄にぶつけたりする。以後本剤中止。内服中止してからは同症状認めず。異常行動、興奮回復。体温：37℃	異常-4	
5	B-07010111	男性	2歳	25mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ確定診断を行い、リン酸オセルタミビル処方。夕方より服用開始。寝ていたはずなのに突然起き上がって部屋を走り回った。けがはなかった。服用開始から5日目、異常行動回復。	異常-5	
6	B-03003860	女性	3歳	60mg	テオフィリン 塩酸プロカテロール 塩酸プロムヘキシン ツブテロール オウヒエキス	失見当識	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビルを投与開始（投与期間不明）。投与後、少しボーッとした感じあり。その日の夜より落ち着きなく動き回る。呼んでも返事なし。焦点も定まらない。検査を行ったところ、テオフィリンの血中濃度がやや高値をしもすもEEG、MRI、髄液検査に異常なし。投与開始8日後、症状回復し退院。	異常-6	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
7	B-06001533	男性	3歳	60mg	塩酸シプロヘパタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	意識変容 状態	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日に午前中分のリン酸オセルタミビルを服用した約1時間後に意識障害（奇声を発死、頭を壁へぶつけるなど）が発現し、約5時間持続した。その後、意識障害は回復し、再燃しなかった。	異常-7	
8	B-07013311	女性	3歳	45 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回目服用約4時間後、急に階段を駆け上がった、普段置いていない場所に走っておもちゃを探しにいたりといつもはみられない行動あり。 服用2日目、前日同様、熱が高くぐったりしているのに突然動き出すなど、いつもと違う行動が見られた。午前中、体温は38℃台。午後には体温低下。その後症状なし。	異常-8	2007/10/1以降追加報告
9	B-07013419	男性	3歳	60 mg		異常行動	回復	39.6℃の発熱。A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用30分後、2階で昼寝していたが、いつもの発熱時同様、少し四肢をピクピクとする。服用2時間30分後、2階の大きい窓を開けて上半身を乗り出すようにしていた。母親が注意すると素直に従う。10分程度で異常行動疑いは回復。	異常-9	
10	B-07027596	男性	3歳	25 mg	塩酸プロカテロール カルボシステイン ソプロテロール	激越 幻覚	回復 回復	夜、A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用約1時間後、体熱感あり。寝たかと思うとわーっと呼んで「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いガクガクふるえる。10分位でおさまって入眠。服用約2時間後、ふとんに入っていたのが起きて走り出す。10分程でおさまる。服用6時間後、また騒ぐ。服用2日目、朝、起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。本剤半量を服用し、（苦味のため半分でやめた）以後、異常行動なし。		2007/10/1以降新規報告
11	B-02001480	男性	4歳	75mg	トシル酸トスフロキサシン ザルトプロフェン	妄想 幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与。投与1時間後（夜間）に幻覚・妄想が出現。その後、回復したが、翌朝の服用（2時間）後に再び幻覚・妄想が出現し、包丁を持ち出す。来院後、投与を中止。症状は回復。併用薬の投与量・時点は不明。	異常-10	
12	B-05000876	男性	4歳	60mg	アセトアミノフェン	尿失禁	回復	約1ヶ月前、インフルエンザAの診断で、本剤51mg、5日間投与。異常なし。発熱、嘔吐にて来院。流行状況よりインフルエンザと診断し本剤60mg投与開始。 3日目、発熱は継続し、意識もうろう状態で意味不明言葉を発し、泣き、尿失禁する。10分後に落ち着く。 4日目、朝から本剤の服用を中止していたが、夜、睡眠中に突然起きあがり、壁をガンガン叩く等の興奮状態。10～15分で再入眠。1時間ごとに4～5回繰り返した。 翌日回復。	異常-11	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
13	B-06024911	男性	4歳	60 mg	アセトアミノフェン	激越	軽快	夕方より、インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、体温38.5℃。異常な興奮がみられ、不眠となった。服用2日目、夜、体温：37.5℃。異常な興奮状態の程度が強くなった。服用3日目、夕方、興奮状態3～40分経過後に続いて、大声で奇声を発し、おびえたように走り回り、大人二人でかるうじておさえるという異常な行動が深夜まで持続した。服用4日目、本剤服用中止。	異常-12	
14	B-07000057	男性	4歳	30 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン 塩酸プロムヘキシン セフロキサジン 耐性乳酸菌製剤(2)	異常行動	回復	インフルエンザA型のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用30分後、異常行動(公道を走っており、家につれて帰った後は2階のベランダから身を乗り出そうとした)発現。聞くと「下を見てたの」との事。服用は1回で中止。翌日、異常行動回復。	異常-13	
15	B-07000106	男性	4歳	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39～40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。	異常-14	
16	B-07000286	男性	4歳	132 mg	臭化水素酸デキストロメトラン d-マレイン酸クロルフェニラミン フマル酸テチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6～7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返した。4回目の服用中止。症状全て回復。	異常-15	
17	B-07004784	女性	4歳	60 mg		異常行動	軽快	検査にてインフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回目服用後、寝ていて夜中に突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。眼は開けていたがうつろであった。口を動かし、もごもごしていたが、意味は不明であった。服用2日目、朝、覚醒し、以降、異常なし。本剤服用中止。	異常-16	
18	B-07018038	男性	4歳	不明	オキサトミド d-マレイン酸クロルフェニラミン dl-塩酸メチルエフェドリン 塩酸プロムヘキシン 塩化リゾチーム ツロプテロール	異常行動	回復	2年前、体温：39℃にて、受診し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こしている。本年、体温：40.1℃。本剤服用開始2回目、深夜、体温：37.9℃。目を開いたまま、立ったり、すわったり、走ったりが、10～15分続いた。その後、意識がはっきりしてもこのことは覚えていない。		2007/10/1以降 新規報告
19	B-07025219	女性	4歳	不明		異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル処方。服用1日目から服用3日目まで、夜間にうろろしていた。異常行動発現。		2007/10/1以降 新規報告
20	B-07027782	男性	4歳	75 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸シプロヘパタジン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビルを脱カプセルにて服用。夜に頭をぶつけるようにフラフラしたり、昼寝の最後に泣き出すような症状が出現。本剤服用開始3日後、異常行動は回復。		2007/10/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
21	B-04008530	男性	5歳	78mg	塩酸プロムヘキシジン ヒベンズ酸チペピジン 酒石酸アリメマジン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル78mg/日他を処方。2回服用後、夜から翌明け方にかけて40℃の高熱が続く。明け方、異常な発言があり、興奮して家の中を走り回り、譫妄状態に陥った。同日も本剤を服用。同日、譫妄回復。その後も2日間服用し、母親が投与中止。その後譫妄状態はおきなかった。	異常-17	
22	B-05024964	女性	5歳	30mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキシール ツロプテロール	譫妄	回復	A型インフルエンザに対し発症の翌日よりリン酸オセルタミビル服用開始（38℃）。服用2時間後より譫妄状態（突然起きあがる、目つきがおかしい、異常な発言、毛布をくわえる等）が8時間ほど続き、朝4時頃就眠。その後6時に覚醒、意識は清明で発熱（39℃台）はあったが譫妄はその後出現せず。インフルエンザ発症12日後インフルエンザ軽快。	異常-18	
23	B-05025585	男性	5歳	120mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	譫妄	軽快	既往歴として、高熱時奇声をあげたことあり。また、前回本剤服用時に、異常行動発現あり。発熱あり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。昼、本剤服用後、30分ほど混迷状態（奇声、走り回る、ないものをあると言う）となった。その2時間後、数分同様の状態となった。本剤2回目服用2時間後、30分ほど混迷状態となり、入院。入院時意識清明、胸腹部所見異常なし、咽頭発赤なし、髄膜刺激症状なし。本剤服用は中止。入院後はせん妄なし。	異常-19	
24	B-06025200	女性	5歳	69 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン セフトラムピボキシール	異常行動	回復	インフルエンザA型のため、リン酸オセルタミビル投与開始。朝は嘔吐してしまったため、その日の夜に服用。服用1時間後くらいから異常行動（わけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった。うつろうつろしている状態でフンを投げ出したりするなど）が続く。翌日、異常行動回復	異常-20	
25	B-06025337	女性	5歳	42 mg	dl-塩酸メチルエフェドリン 塩酸アンブロキシール メキタジン	異常行動 痙攣	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル内服。本剤服用2時間半後、就寝。本剤服用から5時間後、急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太ももを必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、搬送。その後、就寝。熱も下がり、退院。	異常-21	2007/10/1以降追加報告
26	B-07000128	女性	5歳	33 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	異常行動 意識変容 状態	回復 回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動（急にかげだし意識消失して眼が上転し転倒）。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになっておれた。	異常-22	
27	B-07003175	男性	5歳	127.8mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用後、就寝。夕方、本剤2回目服用。布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開けて外を見、痙攣し倒れた。投与開始2日目、一時入院。入院中も本剤継続。投与開始3日目、4日目、「死にたい」との発現あり。投与開始5日目、本剤服用中止。	異常-23	
28	B-07013260	女性	5歳	132 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン トラネキサム酸 アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目に、異常行動（走りまわって壁にぶつかる。表情がおかしい）が発現。	異常-24	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
29	B-07022413	女性	5歳	120mg	ヒベンズ酸チペピジン 硫酸テルブタリン カルボシステイン 塩酸アンプロキシール 塩酸シプロヘプタジン ツロブテロール	痙攣 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	回復 回復 不明 回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用。 服用2日目早朝、入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼ぶ。母の背中に虫が見えると言いだめた。母の背中によじのぼったり、友人の音が聞こえると言った。母に抱かれてガクガク硬直発作(?)を繰り返す。母は認識可能。救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。		2007/10/1以降 新規報告
30	B-07025220	男性	5歳	36 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。夕食後、本剤服用。 一度眠った後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやだいやだ」と叫び、洗面台によじ登ろうとする、蛇口をじっと見つめ指で押さえる。こうした行動を繰り返し行った。異常行動発現。服用から2日目、朝、起床時やや興奮した様子。異常行動 回復。		2007/10/1以降 新規報告
31	B-07025660	女性	5歳	92mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸アンプロキシール トラネキサム酸	熱性譫妄	回復	インフルエンザ検査でA型陽性。リン酸オセルタミビル処方。午後より本剤服用開始。服用約1時間後、視線が合わず、1分間程ではあるが、ぐるぐると同じ所をまわる様に走る動作をした。熱せんもう発現。夜間、鼻出血も出現。服用2日目、熱せんもう回復。解熱後の同症状の再現性はなし。けいれん歴なし。服用6日目、本剤服用終了。		2007/10/1以降 新規報告
32	B-00013386	不明	6歳	150mg	なし	易興奮性	軽快	インフルエンザ治療にリン酸オセルタミビル服用開始。母親から医師への連絡では、服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが嫌いで、以前にも他剤で夜中に暴れたことがあった。本剤投与中止し興奮軽快。	異常-25	
33	B-05021887	男性	6歳	60mg	セフテラムピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤	激越 幻覚	回復	小児科受診時、トミロン、アスピリン、ペリアクチン、ムコダイン、エンテロノン-R処方。 夕刻、発熱(39.0°C)のため来院、脱水症状あり。 発症時所見で発熱(38.3°C)、意識障害あり。 本剤服用後、幻覚、興奮状態発現(異常な発言あり、暴れ出す)。 救急車にて来院、すぐにおとなしくなり、けいれんも発現なし。神経学的異常なし。 その後、幻覚、興奮状態発現なしのまま本剤投与終了。	異常-26	
34	B-05023789	女性	6歳	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 塩酸セフカペンピボキシル アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	回復 回復	高熱のためリン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用数時間後、意味不明な言葉を話して部屋から走って出てくる。異常行動としてはいかいも見られた。次の日に再度リン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用するも、直後に嘔吐する。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、6日後に幻覚症状やいかいから回復する。	異常-27	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
35	B-06000186	男性	6歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型発症、本剤5日間内服する。内服中、幻聴が続いている。その約2ヶ月後、発熱を認め、B型インフルエンザの疑いがあることから、リン酸オセルタミビルと抗生物質の服用を開始。39℃代の発熱が見られたことから、アセトアミノフェン坐剤を投与。リン酸オセルタミビルの投与開始日の夜に異常行動（突然起きて異常な発言をし、母親の足跡の間に自分の指を入れたり、制止がきかない程暴れる）が発現し、翌日の朝にかけて異常行動（入眠中突然起きて異常な発言）が見られた。その後、異常行動は見られず、回復した。	異常-28	
36	B-06006859	女性	6歳	35mg	塩酸シプロヘパタジン ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン ツロプテロール	せん妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。初回服用開始後、せん妄及び異常行動が発現し、回復した。服用開始から2日目及び3日目もリン酸オセルタミビル服用後にせん妄及び異常行動（落ち着きなく動き回る等）が発現し、回復した。	異常-29	
37	B-06025518	女性	6歳	45 mg	セフジトレンピボキシル 耐性乳酸菌製剤(3) トラネキサム酸 ヒベンズ酸チペジン 塩酸アンブロキシロール アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	高熱、倦怠感、関節痛等あり、インフルエンザ陰性だが、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤内服3～4時間後、意識障害(独り言)発現。夕方、再び独り言を発し、一人で屋外へ出ようとした。その後意識障害は継続。翌朝、意識レベルは回復。熱も36.8℃まで解熱した。3日後、後遺症はなく軽快、退院。	異常-30	
38	B-07000279	男性	6歳	40.5mg	セフジニル アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。	異常-31	
39	B-07012137	男性	6歳	40mg	臭化水素酸デキストロトルファン 鎮咳配合剤(1) 酒石酸アリメマジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、昼、2階より転落。「助けて」という声に家族が見つかる。外傷は特になし。その後、意識清明。服用6日目、服用継続するも異常はみられず、朝、本剤服用後投与終了。	異常-32	
40	B-07013250	男性	6歳	不明		異常行動	回復	B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用後しばらくしてから大声を出し玄関に向かって走っていったところ母親に制止された。	異常-33	
41	B-07013332	女性	6歳	90 mg		異常行動 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸セルタミビル処方。体温は39.0℃。夕方、服用1時間後に就寝。体温は38℃。服用4時間後、就寝中、突然大声を出し、足をバタバタと動かし、暴れた。母親が、体をさすりながら声をかけると5分後におさまる。しかし、本人は目をさまさず、そのまま睡眠に入った。服用2日目、目覚めは正常であったが、昨夜の事は全く記憶にない。本剤服用4時間30分後、昨夜のように大声をだし、手足を急に動かし、暴れる。声をかけてなだめると昼寝に入る。夕方、本剤服用。その夜は副作用はなかった。	異常-34	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
42	B-07013397	男性	6歳	75 mg		譫妄 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。帰宅しすぐ服用。服用後まもなく、うわごとを言う、走り回るといった異常行動が発現。その後、本剤中止。異常行動は回復。	異常-35	
43	B-07013398	男性	6歳	不明		異常行動	回復	発熱(38℃)。インフルエンザA型の診断がつき、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用1時間後、突然、服用した薬剤や飲み物等を全て嘔吐。この間も、ずっと傾眠しているようで、妄想のような意味不明の言動あり。嘔吐直後、痙攣あり。 2回目服用3時間後、それまで寝ていたのに突然飛び起き、飛び込むように階段の方へかけていった。家人が追いかけて止めた。その時の状況は本人は覚えていなかった。服用3日目、普通の状態になった。	異常-36	
44	B-07026153	男性	6歳	79.8mg	ヒベンズ酸チベピジン フマル酸クレマスチン 塩酸ツロプロテロール 塩酸アンプロキシール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夜、39.7℃の高熱があり、突然起き上がり、家の中を走り回った。訳のわからないことを話し、5～10分間続いた。異常行動発現。その後症状回復。服用3日目、昼、受診。体温36.7℃。反応は普通で異常なし。投与中止。		2007/10/1以降 新規報告
45	B-05020834	女性	7歳	不明 (4mg/kg/ 日)		幻覚 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル4mg/kg/日処方。夕投与1時間後にドアノブを強く回し続ける異常行動、幻覚発生。救急車搬送入院。翌日回復。	異常-37	
46	B-05023592	男性	7歳	100mg	アセトアミノフェン	譫妄 失見当識	回復	頭痛、咳、鼻症状があり、インフルエンザ陰性であったが、本剤処方。3回服用後、就寝中に突然起き上がり、せん妄、見当識障害発現(異常な発言をしつつ徘徊、急に笑ったり、物を数える)。その後入院し、輸液経過観察。せん妄以外は意識清明で発熱、感冒症状は呈していた。 翌日、就寝中に見当識障害(意味不明なことを言い笑う)を起こすが、その後せん妄、見当識障害回復	異常-38	
47	B-05023597	男性	7歳	60mg		異常行動	回復	咳嗽、咽頭痛、眼痛、発熱(38.6℃)出現し、その後体温40℃となり、異常な発言をする。頭痛、腹痛も出現。 翌朝、姉に処方されていた本剤を服用(発熱継続)。 夕刻、再度服用その後、異常行動発現(奇声を発し怖い目をして呼び出し、勢いよく外へ飛び出した)し、救急外来を受診。 受診時意識清明。入院の上点滴のみで経過観察を行うが特にかわりなく2日後退院。	異常-39	
48	B-05023978	男性	7歳	60mg	麻黄湯	異常行動	回復	インフルエンザの診断を受けてリン酸オセルタミビルを服用。約6時間後に急にびっくりして怖がる様子で叫びだして外に走り出そうとしたり、台所に隠れようとする異常行動が発現し、緊急外来にて経過観察。その後、異常行動は回復。	異常-40	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
49	B-05025721	男性	7歳	102mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始(39.5℃)。初回服用5時間後トイレに起きた時に異常行動(トイレに起き部屋で排尿、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり)発現し、約1時間続いた。その後本剤2回目服用するが異常行動は認められていない。翌朝解熱し本剤服用中止。いつもよりボーっとし寝てばかりいるため、夕方経過観察のため入院。点滴後元気が出てきてインフルエンザ軽快、異常行動軽快。翌日、全身状態良好にて退院。	異常-41	
50	B-05025722	男性	7歳	160.2mg	セフジニル 塩酸シプロヘパタジン 解熱剤(不明)	異常行動	軽快	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(40℃)。併用薬と本剤初回服用1時間後異常行動発現(急に立ち上がりケタケタ笑う、トイレにこもり大きな音をたてる)後、一旦入眠。異常行動発現1時間後、話しかけに無反応、目線があわない等あり。夜中受診し入院となる(39.4℃)。入院時意識清明、異常言動なし。入院翌日以降異常言動なし。脳波、左後頭部に徐脈。MRI左側頭葉に高信号。入院5日後異常言動軽快退院。	異常-42	
51	B-06025421	男性	7歳	51mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	2年前にも本剤服用しているが、問題なし。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用2時間半後、異常行動(突然立ち上がり、22階から1階に走って降りてきて部屋の中を走り回ったなど)発現。入院後、水分補給の目的で点滴実施、ザナミビル水和物を処方したところ、解熱。翌日、回復退院。	異常-43	
52	B-07002051	男性	7歳	120 mg	クエン酸モザプリド ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日昼前、服用し、4時間後、ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し、10分程度で暴れなくなった。同日夕方、再診し、診察上言動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答えるといった軽度の失見当識を認めた。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs(-))。同日夜間、最高40℃まで発熱するもせん妄、異常行動認めず、入眠した。翌朝、体温37℃台まで解熱。易疲労訴えあるが、その他、異常は認めなかったとのこと。	異常-44	
53	B-07002056	男性	7歳	75 mg		異常行動	回復	38.2℃の発熱。 翌日、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、本剤服用。翌深夜(服用6時間後)、起きたし、2階の階段を下りようとし、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。異常行動発現。その後、父親に抱きつき、眠った。 服用開始3日目、熱も下がり、普通に戻った。異常行動回復。	異常-45	
54	B-07002858	男性	7歳	120mg		異常行動	軽快	夕方、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嘔吐発現。 深夜、本剤服用。服用後、ばたばた暴れだし、大きな声を上げながら部屋から飛び出す行動といった異常行動発現。 投与開始2日目、朝、服用後、頭痛、異常行動あり。	異常-46	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
55	B-07011933	男性	7歳	88 mg	セラベプターゼ カルボシステイン 塩酸プロムヘキシソ	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用30分後、興奮、大声を出す。夜、本剤2回目服用30分後、興奮、大声を出す。目つきがおかしく、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るのを家族が抱きとめて制止。	異常-47	2007/10/1以降追加報告
56	B-07012130	男性	7歳	66mg	ソニサミド セフジニル アセトアミノフェン トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ツロプテロール 塩酸シプロヘプタジン	意識消失	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用4日目、昼、外に飛び出しそうになった。興奮状態でバタバタとした。事象発現から2時間後、2、3分間の意識消失発作。夜、2、3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。	異常-48	
57	B-07013248	女性	7歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用数時間後にベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわからない状況で、訳のわからないことも言っていたとのこと。	異常-49	
58	B-07013301	男性	7歳	88 mg	フマル酸ケトチフェン テオフィリン クロモグリク酸ナトリウム カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン トラネキサム酸 塩酸シプロヘプタジン ツロプテロール	異常行動	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、睡眠中、ムクッと起きて2階に駆け上がった。姉につれられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。本剤中止。	異常-50	
59	B-07013303	女性	7歳	81 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール 塩酸ツロプテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用4時間後、体温は37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。服用2日目、朝、本剤服用2時間後、布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1階と2階を何度も昇り降りし、理解できない独り言を喋っていた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。事象発現4時間後、症状回復。	異常-51	
60	B-07013309	女性	7歳	80 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用1時間後、意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。鍵がかかっている本人は気づいていなかった。同日症状回復。	異常-52	
61	B-07013377	女性	7歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていた。	異常-53	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
62	B-07013384	男性	7歳	40 mg	フマル酸ケトチフェン トラニラスト プロピオン酸フルチカゾン	幻聴 幻覚 譫妄	回復 回復 回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間後、精神症状(幻聴、幻覚、せん妄発現。「こわい」「学校へ行く」等、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行こうとする行動あり。本剤中止。 夜、受診時、特に問題を見とめず、解熱剤屯用の処方を受け帰宅。服用2日目、再診。夜間も高熱持続し、少しおかしい発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、喘鳴をみとめ、ツロブテロール、マレイン酸クロルフェニラミン、チベジンヒベンズ酸塩を処方。以降受診なし。	異常-54	2007/10/1以降追加報告
63	B-07018715	男性	7歳	120 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.3°Cの発熱あり。インフルエンザA型と診断。以前、熱性痙攣を起こしたことがある。卵白アトピーが強いため、インフルエンザの予防接種は不可能。リン酸オセルタミビル処方され、朝、夕に服用。深夜、起き出しトイレに行くのかと母親は思ったが、玄関に向かっていき、その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえしたが、放してくれと叫び、蹴るなど暴れた。母親が泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの？」と言ったとのこと。母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日、本剤は服用せず。		2007/10/1以降新規報告
64	B-07023001	女性	7歳	84mg	アセトアミノフェン	夢遊症	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夜、横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き回った。		2007/10/1以降新規報告
65	B-07023857	男性	7歳	48 mg	アセトアミノフェン カルボシステイン dl-マレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	ウイルス診断にてAB混合型と診断。リン酸オセルタミビル服用後就寝。体温、39.3°C。約1時間後、起きてトイレに行き母親に怖い夢をみたと言っていた。トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝させた。		2007/10/1以降新規報告
66	B-07025434	男性	7歳	105 mg		異常行動	回復	夜、リン酸オセルタミビル服用後、家の外に出て放尿していた。「洗濯籠が怖い」と叫んでいた。患者はそのことを覚えていない。		2007/10/1以降新規報告
67	B-07026155	男性	7歳	42 mg	鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(3) カルボシステイン メクロプラミド	異常行動	回復	インフルエンザA型B型混合型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。屋敷時、岩が落ちてくる、と言って覚醒する。夜、奇声をあげて走りまわる。服用2日目、朝、解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる、幻覚回復。		2007/10/1以降新規報告
68	B-07028194	男性	7歳	60 mg	ヒベンズ酸チベジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用。 譫妄発現。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暴れたい」などと口走ったため1回だけの服用で全ての服薬を中止。 服薬中止2日後、同症状は3日間毎夜出現(昼間は異常なし)。 服薬中止4日後、横になると何回も起き上がり、「我慢できない。暴れたい」と口走り、部屋の中を小走りにつけ回った。「頭の中にダンベルが出てくる」ともいい、開眼していたが、目の前の母親ではなく違うところを見ていた。 服薬中止5日後、本人は「なぜかわからないが暴れなくなった」とのこと。		2007/10/1以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
69	B-02014446	女性	8歳	36mg	セフボドキシムプロキセテル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフボドキシムプロキセテルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を夕方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとほろ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。	異常-55	
70	B-05000677	男性	8歳	84mg		意識変容状態 異常行動	回復	前日來の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起きあがり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。	異常-56	
71	B-05001224	男性	8歳	110 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン パモ酸ヒドロキシジン	幻覚 落ち着きのなさ 異常行動	回復 回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。本剤服用後入眠しその3時間後、覚醒直後から幻覚などの異常行動出現。当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。	異常-57	
72	B-05018854	男性	8歳	112mg	臭化水素酸デキストロメトラン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動 (精神症状 (異常行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出しているとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が過落ち落ち着いたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。	異常-58	
73	B-05021659	男性	8歳	102mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタT-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。救急車にて来院し入院となる。入院時、意識ほぼ清明。翌日、解熱する。本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。	異常-59	
74	B-05022380	男性	8歳	60mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。翌日、自分で点滴抜去、病棟内を一人でうろつく。脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。3日後、異常言動軽快退院	異常-60	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
75	B-05022780	男性	8歳	46.5mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。体温39.6℃、2回目服用後、就寝するが、激越発現（急に大声でわめきながらおきる）。その後翌日正午まで、異常行動（異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗りピョンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。）継続する。起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用中止する。その後2日間は16～18時間の睡眠をする	異常-61	
76	B-05023443	男性	8歳	93 mg	ヒベنز酸チペピジン 塩酸プロムヘキシン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	発熱(39.5℃)、インフルエンザA型、咳、鼻症状にてアズベリン、ピソルボン、ペリアクテン、本剤を処方。本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛び動作等)、尿失禁発現。翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復	異常-62	
77	B-05025720	男性	8歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回日本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを掴もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言動軽快退院。	異常-63	
78	B-05026722	女性	8歳	54mg	ヒベنز酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビル服用を開始。投与開始日の夜に40℃の発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。この後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5℃前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5℃)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。	異常-64	
79	B-07000086	女性	8歳	120mg	ヒベنز酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。	異常-65	
80	B-07000288	男性	8歳	42 mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5～6時間後、部屋を意味も無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。	異常-66	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
81	B-07001354	女性	8歳	60 mg	カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。 服用開始2日目、酸素マスクをはずして、点滴のラインとカチャカチャぶつけていた。声を掛けると我に返った。ベッドの上に立ち上がった。声をかけても反応無し。手をベッドにぶつける。 服用開始から6日目、異常行動回復。	異常-67	
82	B-07003582	女性	8歳	90 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回服用1時間後、突然2階に走っていき、部屋をウロウロする。翌朝までずっとウトウトしていた。夜、2回服用。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、尿失禁等がみられた。 翌朝、40℃の発熱。朝からボーッとしており、呼びかけへの反応も乏しい状態が続くため、受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、MRI所見なし。髄液所見なし。脳症の可能性を考え、メチルプレドニゾロン投与を施行。 翌日、意識清明となり経過良好。	異常-68	
83	B-07013003	男性	8歳	150mg	シメトリド・無水カフェイン ヒベンズ酸チベピジン dl-塩酸メチルエフェドリン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤服用後、異常行動が発現（ベッドからとびおる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う）。体温は40.2℃。服用2日目、本剤服用。体温は37.4℃。異常行動回復。	異常-69	
84	B-07013253	男性	8歳	84 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始から3日目、内服後、2階の部屋より階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本剤中止。服用開始から5日目、熱が37.2℃。その後、異常行動は回復。	異常-70	2007/10/1以降追加報告
85	B-07013258	男性	8歳	120 mg		異常行動	回復	夜間、40℃の発熱があり、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。1回服用後、嘔吐。服用2日目、2回服用後5～10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った（マンションの10数階）。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。本人は一連の記憶なし。その後、寝かしつけ、異常行動は回復。	異常-71	
86	B-07013304	男性	8歳	100 mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。同日、意識混濁が発現。自宅の外に出るが、その後、意識混濁は回復。	異常-72	
87	B-07013310	女性	8歳	45 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用約2時間後、理由もなく外に飛び出そうとする。異常言動発現。家族が止め大事には至らなかった。服用3日目、異常言動回復。発熱もなくなったため、本剤中止。	異常-73	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
88	B-07013385	女性	8歳	99mg	アセトアミノフェン 酒石酸アリメマジン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキシロール	異常行動	回復	朝より38.0℃の発熱あり、検査にてインフルエンザA型と判定し、リン酸オセルタミビル等処方。服用2日目、昼、寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走り出して暴れた。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。事象発現から30分後に異常行動は回復。その後、そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。約2週間後、昼、発熱。夜中には39.5℃まで上昇。突然わけのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。翌日、受診し、インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤服用いかんにかかわらず、同様の症状出現。	異常-74	
89	B-07013400	男性	8歳	90 mg	クラリスロマイシン メキタジン カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、夜、38.4℃の発熱があり、入眠。服用4時間後、深夜、ぶつぶつとつぶやきながら歩き回っていた。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていたので、母が声をかけると止まった。次第に落ちて着いて2時間後には入眠。異常行動回復。服用4日目、朝、起床時は異常なし。	異常-75	
90	B-07020496	女性	8歳	90mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン d-メレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	午後、39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル処方。夕方、1回目服用。その後寝ていた。服用5時間後、睡眠中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「パパおかえり」と言った。服用8時間後、ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫？」と声をかけたら「うん」と言った。翌朝、いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。		2007/10/1以降 新規報告
91	B-07020966	不明	8歳	不明		異常行動	回復	診察時にも訳の分からないことを言っていた。夕方、リン酸オセルタミビルを1回服用後、夜中に走り出した。その時に親が押さえて、止められた。		2007/10/1以降 新規報告
92	B-07021970	女性	8歳	52.5mg	塩化リゾチーム カルボシステイン	異常行動	回復	姉がインフルエンザA型加療中のところ、起床時37.6℃発熱ありとのことで、迅速検査で陰性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑いリン酸オセルタミビル処方。終日発熱は37℃台で、本剤服用させなかったとのこと。併用薬は服用。翌日、起床時、40℃にて本剤服用。その後入眠し、1時間後、「姉が暴れて寝られない」と泣きながら自室より出てくる（姉は登校後）。家人が落ち着くよう諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の服用中止を指示。		2007/10/1以降 新規報告
93	B-02002847	男性	9歳	75mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。	異常-76	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
94	B-03005859	男性	9歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ フェジソ酸クロペラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。	異常-77	
95	B-05000151	男性	9歳	不明	セフトラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。	異常-78	
96	B-05021185	女性	9歳	84mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40℃)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40℃発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。	異常-79	
97	B-05024835	男性	9歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じがかり、押さえつける、会話不成立、手足をばたばたさせるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。	異常-80	
98	B-05024837	男性	9歳	99mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。	異常-81	
99	B-05025584	女性	9歳	54mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。昼前1回目服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。	異常-82	
100	B-06025100	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	39℃の発熱、頭痛あり、夜、インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。深夜、起き上がろうとしたり、意味不明な話をしてきたといった入眠中の異常行動発現。本人は覚えていない。その後、本剤服用せず。救急外来受診し、入院。ザナミビル服用し、特に問題なし。	異常-83	2007/10/1以降追加報告
101	B-07000097	男性	9歳	75 mg	カルボシステイン	幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。	異常-84	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
102	B-07000198	男性	9歳	60 mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かないや」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。	異常-85	
103	B-07000262	女性	9歳	42.6mg	クラリスロマイシン フマル酸ケトチフェン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。	異常-86	
104	B-07012129	男性	9歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸	異常行動 幻視	回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、この時の記憶あり。事象発現から4時間後、家族が買い物から戻ると、庭の隅でかがんでいる。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。1回目事象発現から6時間後、緊急入院（本剤服用中止）。その後、幻視、異常行動はなし。	異常-87	
105	B-07013252	男性	9歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。服用開始2日目、異常行動は回復。本剤は服用4日目まで投与継続。この間、異常行動は認められなかった。	異常-88	
106	B-07013257	女性	9歳	42.45mg	塩酸アンブロキシソール カルボシステイン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用後、寝ていたが30分ほど起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたが、再びパジャマをビリビリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後回復。	異常-89	
107	B-07013259	女性	9歳	93 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン ラクトミン 鎮咳配合剤(1) 塩酸ツロプテロール カルボシステイン アセトアミノフェン	激越	回復	インフルエンザA型の診断で、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤2回目服用後、横になってテレビを見ていたが、服用約1時間後、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。その後も本剤服用を継続するも問題なし。	異常-90	
108	B-07013313	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン ノルフロキサシン	異常行動	回復	倦怠感、38.6℃の発熱。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。就寝1時間後、突然に暑い暑いと騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が帰るように言っても、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親は「寒いから窓を閉めるよ」と言ったら、とぼとぼと帰ってきた。しばらくして就寝した。服用2日目、朝、前夜の記憶なし。	異常-91	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
109	B-07013329	女性	9歳	90 mg	レバミピド ドンペリドン	異常行動	回復	キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 朝夜、本剤服用し、就寝後、急に目を開いて立ち上がる。「ここにはいられない、外に行かなきゃ」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。事象発現1~2時間後、また起き上がり「学校に行かなきゃ」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。更に1時間後、再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。体温は38.5°C。翌朝、母親の判断で本剤中止。異常行動回復。	異常-92	
110	B-07013330	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。深夜、突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の柵を乗り越えて外に走り出した。 その後、異常行動は回復。本人は全く覚えていない。	異常-93	
111	B-07013375	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメメルファン チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	記憶障害 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型診断、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤1回目服用数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が見つかる。夜間、奇声を発する。本剤は1回のみ服用し、その後は中止。服用2日目、回復。前日夕方よりの行動について記憶がなかったとのこと。	異常-94	
112	B-07013396	女性	9歳	108 mg	メクロブラミド クラリスロマイシン ペミロラストカリウム カルボシステイン 開始液(1) リン酸ジメメルファン メクロブラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用約2時間後、目つきが変わって、しきりに外に出ようとしたり、何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。服用2日目、異常行動回復。服用5日目、残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	異常-95	
113	B-07015225	男性	9歳	150 mg		睡眠時驚愕	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、早朝、起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。この時発汗や顔面紅潮を伴っていた。この時の事を本人は記憶していない。本剤中止。 服用中止4日後、夕方から眠っていたところ、衝動的に覚醒、まとまりない言辞あり。服用中止7日後、8日後、12日後、13日後、15日後、16日後、18日後、27日後に同上のエピソードが短時間あり。		2007/10/1以降 新規報告
114	B-07023327	女性	9歳	78 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザAと判定。リン酸オセルタミビル処方。帰宅後服用し、2階にて就寝していたが、母親が気がついたときには1階をうろろろしていた。母親がどうしてうろろろしているのか子供に尋ねると我に返ったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。寝ているときも寝言が多く天井に向かい両手を盛んに動かしていた。異常行動発現。服用4日目、異常行動回復。服用5日目、本剤終了。		2007/10/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
115	B-07023858	女性	9歳	138 mg	ヒベンズ酸チベピジン dl-塩酸メチルエフェドリン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。発熱40°C。同日夜、就寝中急に起き上がり、部屋の中をぐるぐる回ったり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。発熱40°C。事象発現5分後、症状回復。服用2日目、朝本剤服用。発熱39°C。夕方、再度徘徊、一人言などあり。すぐに症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。その後、本剤服用するもはおかしな行動は見られない。		2007/10/1以降 新規報告
116	B-07026154	男性	9歳	57 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間後、突然異様な目つきで階段を駆け上がる。親が取り押さえて眠りについた。本剤服用中止。その後異常行動回復。		2007/10/1以降 新規報告
117	B-04008522	男性	10歳	75mg	ジプロフィリン・メキシフェナミン配 合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識変容 状態	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。	異常-96	
118	B-05023468	男性	10歳	105mg		異常行動	軽快	発熱(38.7°C)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。入院後は異常言動出現なし。翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。	異常-97	
119	B-05024270	女性	10歳	114mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。	異常-98	
120	B-05024606	男性	10歳	108 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。	異常-99	
121	B-06010806	男性	10歳	114mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。	異常-100	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
122	B-07000166	女性	10歳	75 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝本剤服用2時間後、体が熱い症状訴え、目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていたのに家族が気づき制止。本人は覚えていないとの事。その後、寝かしつけた。服用から4時間後、睡眠より覚醒。意識清明。本剤中止。同日、異常行動回復。	異常-101	
123	B-07002856	男性	10歳	不明		異常行動	不明	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなつたし、走りたくなつた」と本人が説明。	異常-102	
124	B-07012021	男性	10歳	100 mg		譫妄 意識変容 状態	回復 回復	リン酸オセルタミビルを昼、夕に服用。夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。翌日、意識清明となった。	異常-103	
125	B-07012054	男性	10歳	60 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン メキタジン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、保護者が不在であったが、最後に見たときは睡眠中。ポーッと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思ってマンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、保護。その1時間後、来院。来院時、体温 38.4℃、意識清明。夜、睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきた。	異常-104	
126	B-07013136	男性	10歳	114 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。昼・夜に服用。翌早朝、普段している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコムが反応したため外に飛び出すことはなかった。	異常-105	
127	B-07013247	男性	10歳	75 mg	プレドニゾン 塩酸エブラジン セラペプターゼ 塩酸アンプロキソール クラリスロマイシン	異常行動	回復	入院にてリン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、朝、服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み失禁した（この時点では解熱していた）。本剤中止。その後は正常となり退院。	異常-106	
128	B-07013255	男性	10歳	120 mg	桂麻各半湯 ドンペリドン 黄耆建中湯	異常行動	回復	高熱のため受診。インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕、本剤服用後、一度睡眠に入るが、突然立ち上がり家の中を飛び跳ねる。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、家人二人で外に出るのを止める。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きをとり戻し、再び睡眠。服用2日目、熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。	異常-107	
129	B-07013386	女性	10歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザで来院、リン酸オセルタミビルを処方され、帰宅し服用。夕方、突然靴下を履き暴れて外に飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。同日、異常行動は回復。	異常-108	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
130	B-07021901	女性	10歳	150 mg		異常行動	回復	服用2日目、二段ベッドの上の段に寝ていたところ、急に起きてきてベランダに走ってきて、母に「リカちゃんがかげから落ちたんじゃないか、どうなったのか」と聞いた「リカちゃんは大丈夫だから」と話して納得させたが、その時のことを本人が覚えていない。夕食時、ベッドで寝ていた本人に食事を運んでいったところ、起きていたが訳の分からないまっぴりしないことを言う。		2007/10/1以降 新規報告
131	B-07027206	男性	10歳	120 mg/kg	ブマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトルファン クレゾールスルホン酸カリウム カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。自宅にて1回目服用後、就寝。服用約3時間後、急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走り出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした（大きな岩が自分に向かって転がってくる幻覚があったとのこと）。事象発現約30分後、家族が静止し、その後就寝。1回目服用5時間30分後、2回目服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態があったが、朝には正常であった。服用2日目、本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱あるも、異常行動はなし。		2007/10/1以降 新規報告
132	B-05023595	男性	11歳	60mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。本剤投与後、幻覚症状（怖がって逃げる）、異常行動（異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く）発現。1時間後、改善	異常-109	
133	B-05024102	男性	11歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2℃)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。	異常-110	
134	B-06024935	男性	11歳	72mg		異常行動	回復	妹に処方されたリン酸オセルタミビルを服用。同日夜、突然の発熱(40℃台)あり。本剤服用約10時間後の翌朝、突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。訳の分からないことを叫び走り出したので、押さえ込む。しばらくした後、意識が戻る。インフルエンザA型と診断された。	異常-111	
135	B-06025190	男性	11歳	75 mg		異常行動 幻聴	回復 回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。翌日の午後、異常行動、幻聴発音し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。夜、服用中止。家族がつきそう。2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。幻覚、異常行動、幻聴回復	異常-112	
136	B-06026130	男性	11歳	50 mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。	異常-113	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
137	B-06028540	男性	11歳	150mg	メキタジン 塩酸エブラジノン カルボシステイン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。	異常-114	
138	B-07000058	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン ラクタミン	異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。	異常-115	
139	B-07000111	男性	11歳	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温：38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。	異常-116	
140	B-07000121	女性	11歳	150 mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン 臭化水素酸デキストロメトルフアン	異常行動	回復	早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。	異常-117	
141	B-07000131	女性	11歳	65 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトルフアン アセトアミノフェン クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン 臭化水素酸フェネテロール 乳酸カルシウム ビフィズス菌製剤(4)	異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中でガードレールを越えて車に飛び込みようとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。	異常-118	
142	B-07000163	男性	11歳	100 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸レセルピリン酸ジメチルアミノエチル カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。	異常-119	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
143	B-07000260	女性	11歳	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた（過去には夜に一人で外をふらつく）。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり顔に裂傷を負う。	異常-120	
144	B-07000274	男性	11歳	100 mg	臭化水素酸デキストロメトルフアン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39°Cの発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルフアン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る（約5分間）。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。	異常-121	
145	B-07003018	男性	11歳	52.5mg	トラネキサム酸 塩酸ソプロテロール フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断された。夕方、リン酸オセルタミビル服用。本剤服用1時間後、突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。制止して様子を見ると、ニヤリと笑った。その後も家の中をふらふらとした。服用は1回で中止し、再び入眠。翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	異常-122	2007/10/1以降追加報告
146	B-07003581	男性	11歳	64.005mg	モンテルカストナトリウム 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシソール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール リン酸ジメモルファン フマル酸クレマスチン プロピオン酸ベクロメタゾン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	異常-123	
147	B-07003786	男性	11歳	150 mg	塩酸セファペンピボキシル リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。2階で臥床していたが、大声を出し、階段を駆け下りてきた。その後、服用を続けていたが異常なし。	異常-124	
148	B-07011102	男性	11歳	不明		異常行動	不明	39°Cの熱が続き、キットでは陰性だったが、医師の経験上の判断でインフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、本剤服用後、2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを家族に制止された。その時顔は赤らんでいて、何も覚えてないとのこと。	異常-125	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
149	B-07013215	女性	11歳	144mg	塩酸セファペンピボキシル 塩酸トリプロリジン 椋皮エキス セネガ アセトアミノフェン	譫妄	軽快	体温は37.8℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、就寝1時間後（本剤服用7時間後）、突然起き階段を「恐い怖い」と言いながら走っておりてきた。15分～20分振えていた。服用2日目、朝、せん妄軽快。その後、服用3日目まで、本剤服用。	異常-126	
150	B-07013227	男性	11歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) メキタジン カルボシステイン	激越 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目服用。その後就寝。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられる。2、3分にて本人が気づき状況確認すると、とても恐い夢をみたとのことだった。	異常-127	
151	B-07013315	男性	11歳	80 mg	カルボシステイン フマル酸ケトチフェン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用約1時間後、急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。その後、異常行動回復。	異常-128	
152	B-07013316	男性	11歳	67.5mg		異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目、午後、昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、我に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。事象発現30分後、異常行動回復。以後は症状みられず。	異常-129	
153	B-07013379	男性	11歳	67.5mg	ヒベンズ酸チペジン フマル酸クレマスチン 塩酸セファペンピボキシル	恐怖 うつ病 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、一過性の怖れ（驚怖）、嫌世（強いうつ？）、興奮状態発現。服用2時間30分後、就寝後、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。その後、就寝。服用5時間30分後、再び就寝中に数分～5分内の恐怖の発現が有り。服用7時間30分後、就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。服用2日目、一過性の怖れ（驚怖）、嫌世（強いうつ？）、興奮状態軽快。何事もなくめざめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。	異常-130	
154	B-07013383	男性	11歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、急に家を飛び出し、家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。その後、異常行動は回復、本剤中止を指示して再発なし。	異常-131	
155	B-07013387	女性	11歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤中止。服用3日目、異常行動軽快。	異常-132	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
156	B-07018037	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペジン 塩酸アンプロキシール 塩化リゾチーム ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1日目、本剤服用1時間後、突然飛び起き、目を見開いて走り出す。30分程度で症状はおさまる。異常行動を覚えていない。		2007/10/1以降 新規報告
157	B-07018716	男性	11歳	75 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとのことで、家族が当院を受診し、入院経過観察することとなった。翌日、異常行動は回復。		2007/10/1以降 新規報告
158	B02-12377 (B07002859)	男性	12歳	150mg		低体温	回復	インフルエンザキット陽性にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、幻視、低体温、暴れたため、家族がおさえた。体温は服用後、34-35°Cになった。再度服用したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び家族におさえられて治まった。その後本剤は中止とした。服用開始2日目、3日目と低体温が続くが、服用開始4日目に低体温回復。	異常-133	
159	B-03011945	男性	12歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	診断キット(-)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39°Cの熱と、意味不明の発音、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発音が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。	異常-134	
160	B-04009035	男性	12歳	150mg	セフジトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフジトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。	異常-135	
161	B-05023672	男性	12歳	60mg	臭化水素酸デキストロメトランファン メキタジン ラクタミン	異常行動	回復	発熱(39°C)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で走り出す。奇声を上げる)。15分後帰宅するが、意識がぼんやりとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過。翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。	異常-136	
162	B-05023790	男性	12歳	66 mg		異常行動 意識変容 状態 機骨折 下肢骨折	回復 回復 不明	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日とも夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。	異常-137	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
163	B-05024838	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。	異常-138	
164	B-05025582	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39℃以上)。翌朝解熱(36.7℃)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。	異常-139	
165	B-06007798	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡 損傷	死亡 死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。 【解剖所見あり】	異常-140 死亡-12	
166	B-06012472	女性	12歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識変容 状態	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。	異常-141	
167	B-06024212	男性	12歳	75 mg		意識変容 状態	回復	発熱(40.5℃)、咳、鼻症状、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用当日、意識障害(名前、自分の年が言えず)発現。投与翌日、意識障害回復。	異常-142	
168	B-06024534	男性	12歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。本剤服用開始当日夜から翌日朝にかけて、異常行動(突然裸になり踊るなど)あり。発熱持続。2日目午前服用後、夕方、母親が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。 TAMIFLU キットにてインフルエンザA型と診断。家族への説明後、リン酸オセルタミビル等処方。服用1日目夕、本剤2回目服用後、夜から朝にかけて、突然裸になり、踊る等の行動あり。服用2日目夕、家族が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。入院。入院時、記憶はなし。	異常-143	2007/10/1以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
169	B-06024909	男性	12歳	150 mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	発熱(37.8℃)、咳、倦怠感あり、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。投与翌日、外を走っているところを見つけれ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり窓を開けて飛び降りた。	異常-144	
170	B-06025101	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。昼間は問題なし。その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。	異常-145	
171	B-06025576	女性	12歳	150mg		異常行動	回復	本剤処方時の昼食時に服用。その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃)翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。	異常-146	
172	B-06026630	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。	異常-147	
173	B-07001302	女性	12歳	75 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、2階の階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。	異常-148	
174	B-07001361	女性	12歳	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。服用開始5日目、服用終了。	異常-149	
175	B-07001523	男性	12歳	75 mg	塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノベン アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。その翌日午後、意識清明となる。	異常-150	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
176	B-07002664	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラミン	錯乱状態 強迫性障害	回復 軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。 投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。 投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしない。 メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7~8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。	異常-151	2007/10/1以降追加報告
177	B-07011932	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	夜、発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤と解熱剤を処方。翌朝、受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、B型と判明。発熱以外特に訴えなく所見もないようなので、リン酸オセルタミビル等を処方。服用1日目、深夜、寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸足で飛ぶように走った。服用開始から3日目、朝、本人は自分の行動を全く憶えていなかった。平熱に戻り元気が良いとのことで、本剤服用中止を指示。	異常-152	
178	B-07013228	男性	12歳	150mg	麻黄湯	異常行動	回復	前日より39.1℃の発熱あり。インフルエンザA型陽性との診断受け、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤を服用し、就寝。夜、気持ちが悪いとトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で「屋上が、屋上が…」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりでおさえつけた。その後本剤中止。	異常-153	
179	B-07013229	男性	12歳	150 mg	フマル酸クレマシテン 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボキシステイン トラネキサム酸	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型発症のため、リン酸オセルタミビルを朝、夕2回服用。深夜、急に起き上がりて服を脱ぎ、部屋の中を歩き、お茶を飲んだ。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。体温は37.9℃。40分くらいで再び眠りについた。その約3時間後、寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていた。目はグルグル回って変だった。40分くらい続いた。	異常-154	
180	B-07013305	男性	12歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動（走り回る、顔つきがおかしい等）が発現。その後、異常行動は回復。	異常-155	
181	B-07013374	女性	12歳	75 mg		異常行動 幻覚 妄想	回復 不明 不明	夕方、B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。何も持っていないのに1つ持っていると言い、外に出ようとするので、父親が側につき、外に出ようとするのを制止した。未明に落ちつく。	異常-156	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
182	B-07013380	男性	12歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) プロピオン酸フルチカゾン ベシル酸ペボタステン 小青竜湯 麻杏甘石湯	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、突然2階階段を走り降りる。夕方、本剤服用後、やはり不穏状態となり、家族が制止する。	異常-157	
183	B-07013382	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加)	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼、夕、本剤服用。2回目服用4時間後、40.2℃の発熱、脱水に対して、アセトアミノフェン服用。輸液点滴静注開始。その後、睡眠。点滴終了し、抜針した所、走り出した。服用2日目、異常行動回復。	異常-158	
184	B-07013388	男性	12歳	75 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	39℃の発熱あり、インフルエンザB型の判定のもと、夕方、リン酸オセルタミビル服用。未明、もうろう状態発現。急に起きて、ベッドの上で飛びはねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。	異常-159	
185	B-07015893	男性	12歳	75 mg		異常行動 異常行動	回復 回復	朝、発熱37℃台。夜、発熱39.2℃。夜間診療所にてインフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤初回服用1～2時間後、閉まっていた自室2階の窓とシャッターを開けて、飛び降りた。幸いテラスの屋根があり外傷認めず。飛び降りた際には支離滅裂な話をしていた。親が不安になり、一階の部屋で一緒に寝かせた。翌朝、部屋から一人で出て行こうとした。「トイレ？」と尋ねると、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言うと、横になり眠った。体温38.2℃。午前、入院。服用開始4日目、本剤は継続したが、異常行動の再発はなく、元気に退院。	参考 症例(異常)として公表	2007/10/1以降 新規報告
186	B-03000982	男性	13歳	150mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20～21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。	異常-160	
187	B-03001038	女性	13歳	150mg	塩酸テアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。	異常-161	
188	B-03009902	男性	13歳	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ヒベンズ酸チベジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポビドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。	異常-162	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
189	B-05001832	男性	13歳	150mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38℃。翌日朝、受診。	異常-163	
190	B-06022963	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思ひ込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。	異常-164	
191	B-08025315	男性	13歳	75 mg	プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	軽快	発熱を伴うインフルエンザB型で本剤、カロナールを処方。その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現叫びながらベランダに向かって歩き出す。再度受診し、服用を中止。その後、異常行動なし。	異常-165	
192	B-06026420	男性	13歳	150 mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言（「大きい石がのっている」）あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗り、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	異常-166	
193	B-07000063	男性	13歳	150 mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。異常行動があったため、当院にて診療。治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。	異常-167	
194	B-07000066	男性	13歳	75 mg	クラリスロマイシン ブランルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発言あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思ひすぐには連絡しなかった。本剤服用中止。	異常-168	
195	B-07000077	男性	13歳	150 mg	フェンジソ酸クロベラスチン 塩酸アンプロキシール イブプロフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、突然起きて外出する。家族が気づいて追いかけて連れ戻す。受け答えははっきりせず、自分のした行動も理解していなかった。連れ戻した後、すぐに就寝。本剤服用中止。その後異常行動はなく、意識もすぐ正常に戻った。	異常-169	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
196	B-07000130	男性	13歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム ヒベンズ酸チペピジン 塩酸セチリジン	異常行動	回復	体温：39.3℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。覚醒後「暑い」と言い「ベランダに行き、涼みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになり家族が制止。10分後に異常行動回復。夜、臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくては」と言っつてふとんをかぶるといった幻視の疑いが発現。10分後に幻視回復。以降、本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。	異常-170	
197	B-07000272	男性	13歳	60 mg	塩酸エブラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。	異常-171	
198	B-07000412	男性	13歳	138mg	塩酸テアラミド	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (平成18年7月の事例)	異常-172	
199	B-07001355	男性	13歳	150 mg	ブランプロフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン	幻覚 異常行動 譫妄	回復 回復 回復	数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかられるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。	異常-173	
200	B-07001668	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起きあがり、部屋をかけ回る、たんすを開ける、友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。	異常-174	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
201	B-07002055	男性	13歳	不明		異常行動	回復	シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3～4時間後の早期、「友達がベランダから落ちた」と発言。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前を言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいるようで、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。	異常-175	
202	B-07002997	女性	13歳	150mg	ドンペリドン 酪酸菌製剤 d-マレイン酸クロルフェニラミン	大発作痙攣	回復	3年前、A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビルの服用歴あり。副作用なし。 38.5℃。B型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤服用。この時体温40℃。昼、異常なし。夜、2階から1階に下りようとして「こわい、こわい」とさけび出し、両手を広げバンバン壁をたたき、その後、けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわい、こわい」と言っていた。けいれん時：35.5℃と解熱。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。 投与開始2日目、朝、本剤服用中止するも、夜は服用。 投与開始3日目、朝、夕本剤服用。	異常-176	
203	B-07004039	男性	13歳	150 mg	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザ発症し、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、朝、2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。家族が制止し、30分後、我にかえた。39℃台の発熱あり。患者によると、悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。	異常-177	
204	B-07013251	不明	13歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用の4時間半後、裸になって外に飛び出す。本剤中止。服用2日目、異常行動は回復。	異常-178	
205	B-07013256	男性	13歳	42mg	アセトアミノフェン アモキシシリン ツロプテロール	幻覚	回復	A型インフルエンザ(体温は39℃)に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。 服用2日目、幻覚(異常行動)は回復。	異常-179	
206	B-07021878	男性	13歳	150mg	鎮咳配合剤(1) 柴胡桂枝湯	異常行動	回復	夕方、リン酸オセルタミビルを服用。就寝。夜中突然泣き出して、布団の中ででんぐり返しをし、部屋の中を走り出した。押さえて、少しして落ち着いた。再び眠り、症状は消えた。本人も一部は覚えているとのこと。服用2日目、本剤服用したが、異常行動は起こらず。		2007/10/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
207	B-05002487	男性	14歳	75mg		意識変容状態	死亡	発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。	異常-180 死亡-13	
208	B-05017753	女性	14歳	150mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム	譫妄(せん妄)	回復	咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用しても改善されず受診。インフルエンザ予防目的に本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着きがなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。	異常-181	
209	B-05022381	男性	14歳	75mg	ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メクロプラミド	錯乱状態 落ち着きのなさ	回復	発熱(38℃)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マンションの9階))。ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でおさえなければならぬほどの力で暴れた。服用中止し、錯乱、不穏回復。	異常-182	
210	B-05024748	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。	異常-183	
211	B-05024963	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識変容状態 異常行動 悪心	回復 回復	A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできないことができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いており、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。	異常-184	
212	B-05025213	女性	14歳	150mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ペンプロペリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5℃)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。	異常-185	
213	B-05025476	男性	14歳	150mg		痙攣 意識変容状態 異常行動	未回復 未回復 未回復	インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明)	異常-186	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
214	B-05025583	男性	14歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シヤゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5℃)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいいカバンを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。	異常-187	
215	B-05025723	男性	14歳	150mg		健忘 激越 異常行動 錯乱状態	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマンタジン投与。その際は高熱(39.1℃)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。)	異常-188	
216	B-06024434	女性	14歳	75 mg	イブプロフェン 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン	転倒	死亡	発熱(38.2℃)、咳、鼻水、喉の痛みあり、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。	異常-189 死亡-14	
217	B-06024795	男性	14歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	死亡 死亡	インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9℃)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。	異常-190 死亡-15	
218	B-06025006	男性	14歳	75 mg	フェンジゾ酸クロペラステン カルボシステイン	異常行動	回復	発熱(39.6℃)あり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間半後、異常行動(走り回ったり、階段の手すりに足をかけたりする等)が10分程出現。異常行動回復。	異常-191	
219	B-06025685	男性	14歳	75mg		異常行動	回復	発熱(38.5℃)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排便し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2℃)。入院後、補液管理となり(体温:38.8℃)、その日の夕刻、異常行動回復。	異常-192	
220	B-06026126	男性	14歳	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。	異常-193	
221	B-06026444	男性	14歳	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気が付き、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。	異常-194	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
222	B-07000123	男性	14歳	75 mg	塩酸アンブロキシール 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	来院時、体温：39.2℃。夕方、A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用30分後、異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「俺を殺す気か？」と言った。服用4時間後、2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。体温：39.0℃。「死ねと言うのか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。その後は普通。ご飯食べた。服用6時間後、2F寝室で就寝。服用8時間後、意識もうろう「何で、何で？」と言い泣いた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんているの？」と言った。体温：37℃。服用開始2日目、朝、体温が下がって普通。	異常以外-186	2007/10/1以降追加報告
223	B-07000153	男性	14歳	150 mg	エバステン プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール	異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2～3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。	異常-195	
224	B-07000156	女性	14歳	75 mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動（夜中急に走り出して倒れた）発現。	異常-196	2007/10/1以降追加報告
225	B-07000162	女性	14歳	150 mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、本剤内服後、就寝。夜中に突然起き上がり、声を出しながら（内容は不明）2階の窓より階下へ飛び降りた。直後に両親が庭で患児が腰を打撲して、座っている状態を確認。ボーッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていただけのこと。翌日には意識は全く清明であった。	異常-197	
226	B-07000206	男性	14歳	75 mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆきぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2～3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。	異常-198	
227	B-07000215	男性	14歳	75mf	セフボドキシムプロキセチル 塩酸アゼラスチン 塩化リゾチーム	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、その後就寝。その2時間後突然覚醒し、二階へかけ上がる等の異常行動発現。	異常-199	
228	B-07000218	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。	異常-200	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
229	B-07000261	男性	14歳	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。	異常-201	
230	B-07000283	男性	14歳	75 mg		譫妄 意識レベルの低下	回復 回復	発熱39℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不穏動作(手をパタパタさせたり起き上がろうとしたり、物に話さう様な動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8℃に低下し、回復。	異常-202	
231	B-07000284	男性	14歳	150 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	幻覚	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。	異常-203	
232	B-07000306	男性	14歳	75 mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(41度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼの中を走り回り、国道に倒れていたのを通りかかりの車輦に発見される。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。	異常-204	
233	B-07002193	女性	14歳	75 mg	アセトアミノフェン 塩化リゾチーム カルボシステイン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、壁に頭を打ちつけるのを家族が発見。本人は分かっていたが、頭を打ち続けることを止めることができず怖かったとのこと。1回内服のみで中止し、その後、異常行動を認めていない。	異常-205	
234	B-07005083	男性	14歳	75 mg	ロキソプロフェンナトリウム デブレン 塩酸アンブロソール アセトアミノフェン	異常行動	軽快	急性上気道炎、咽頭炎。37.8℃の熱発あるが、インフルエンザ陰性。1週間後、39.8℃の熱発。リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン坐剤処方。約1時間半後、自宅にて睡眠時にうわごとあり。後、突如起き上がり、部屋を出ていこうとしたところ、家族が制止。落ち着いていたが、急に何かにおびえだす。服用開始から2日目、症状は落ち着いていた様子。以後、副作用もなく転帰良好。	異常-206	
235	B-07013254	男性	14歳	150 mg	塩酸チアラミド デブレン d-マレイン酸クロルフェニラミン リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン ホスホマイシンナトリウム	激越 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、2階で寝ていたが、駆け降りてきて興奮気味に「何か変なものがある」と訴えた。母親とすぐに2階へのぼったが、しばらくして再び眠った。30分後、興奮・幻覚は回復。	異常-207	2007/10/1以降追加報告
236	B-07013399	男性	14歳	不明		異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、ベッドの周りを走り回った。	異常-208	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
237	B-03010203	男性	15歳	150mg		妄想	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。	異常-209	
238	B-05001829	男性	15歳	75mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン	譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣)	後遺症	高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。	異常-210	
239	B-06024227	男性	15歳	150mg	レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン	嗜眠 異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。視線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見て正常に戻ったと評価している。	異常-211	
240	B-06024378	男性	15歳	150mg	非βリン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チベピジン テブレノン	異常行動 自殺企図	軽快 軽快	インフルエンザと診断。体温39℃。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。	異常-212	
241	B-06026296	女性	15歳	150mg	非βリン系感冒剤(4) 塩酸セフカベンピボキシル ソファルコン 臭化水素酸デキストロメトルファン・ クレゾールスルホン酸カリウム 鎮咳配合剤(1) カルボシステイン	全身紅斑	回復	キットにてB型インフルエンザ陽性にて、リン酸オセルタミビル処方。夜、本剤1回目服用。服用2日目、朝、夕服用後、四肢の紅斑が出現。紅斑発現2時間後、徘徊、両上肢、手指のケイレン出現。1時間で軽快。服用3日目、朝、前日夜出現した紅斑が急速に全身に拡大してきたため、再来院。他院皮膚科に紹介入院。	異常-213	2007/10/1以降追加報告
242	B-07000065	女性	15歳	150mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がり、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。	異常-214	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
243	B-07000078	男性	15歳	150 mg	フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 妄想 幻覚	回復 回復 回復	B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間30分後、徘徊、発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。服用2日目、朝、本剤服用1時間30分後、トイレで号泣しているのを家人が発見。「母が死んだ」「怖い人が来る」等の妄想、幻覚が出現。30分後には自然に回復。本剤服用中止。服用開始から3日目、熱が引かないため、セフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。	異常-215	2007/10/1以降追加報告
244	B-07000108	女性	15歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。	異常-216	
245	B-07000259	男性	15歳	75 mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。	異常-217	
246	B-07001356	男性	15歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目、服用後に患者が異常に本剤を欲しがり、母親の首を絞めるなどの異常行動あり。翌日、異常行動回復。	異常-218	
247	B-07001670	女性	15歳	75 mg	アセトアミノフェン	大発作痙攣	回復	39.2°Cの発熱を主訴に初診。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける異常行動を発現。出血(少量)あり。失禁あり。意識清明まで5、6分。その後、強直発作10秒認め。発熱は一度37°C台に戻るが、再び38°C台に上昇。その後、就寝。深夜、トイレに行ったときに脱力し、意識消失。約1分後に回復したが、その後10分程度ボーとした状態であった。その後、通常に戻り就寝。徐々に平熱となった。	異常-219	
248	B-05021030	男性	16歳	75mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン	激越	回復	インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していき、しばらくして帰宅(本人は覚えている)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。	異常-220	
249	B-06025041	男性	16歳	150mg		異常行動 傾眠 失見当識	軽快 軽快 軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。投与開始3日後、平熱。異常行動(いきなり立ち上がり、ボーとしているなど)、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察の為、入院。投与終了4日後、症状改善し、退院。退院4日後まで、見当識障害あり。翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。	異常-221	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
250	B-06025191	男性	16歳	150 mg		譫妄	回復	過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。	異常-222	
251	B-06025425	男性	16歳	75mg	クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	発熱(37.2℃)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。	異常-223	
252	B-07000240	男性	16歳	150 mg	バルプロ酸ナトリウム 酢酸デスマプレシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。	異常-224	
253	B-07003912	男性	16歳	150mg	葛根湯 アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より、本剤服用開始。発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。 投与開始4日目、熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさが続いた。 投与開始5日目、朝、本剤服用後、服用終了。 投与中止7日後、しんどさは回復。	異常-225	
254	B-07005448	男性	16歳	75 mg	アセトアミノフェン テオフィリン	異常行動	回復	夕方、40℃の発熱あり。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より服用開始。 未明、急に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅。その後再び就寝。服用2日目、起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。	異常-226	
255	B-04007197	男性	17歳	75mg	アセトアミノフェン	幻覚 下肢骨折	不明	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。	異常-227	
256	B-04008399	男性	17歳	75mg	塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペブターゼ 塩酸アンブロキシソール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン	異常行動	死亡	塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方(併用薬は継続)。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を飛び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。	異常-228 死亡-16	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
257	B-05021111	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジン アズレンスルホン酸ナトリウム-L- グルタミン	妄想(妄想)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。	異常-229	
258	B-07000087	男性	17歳	75 mg	塩酸セチリジン	異常行動 自殺企図	回復 回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。	異常-230	
259	B-07004079	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、突然トイレに行き、その後ロックを外し外に出ようとする。ベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止め、事なきを得た。翌日、異常行動回復。	異常-231	
260	B-05025437	男性	18歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸アンプロキシロール	異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7℃)外来受診し本剤中止、異常行動回復。	異常-232	
261	B-06026848	女性	18歳	150mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	転倒 自傷行動	後遺症 回復	本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。 処方5日目(3月23日)朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。 微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。	異常-233	
262	B-07013137	男性	18歳	150 mg		異常行動 異常行動	不明 回復	以前、リン酸オセルタミビルを服用し、外に飛び出る異常行動発現。 A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。本剤服用中止。	異常-234	
263	B-07013376	男性	18歳	150 mg		異常行動	回復	夕方、B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用2時間後、暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 服用2日目、夕方、本剤服用後も暴れるが、父親が確保。 服用3日目、朝、本剤服用時には症状は発現しなかった。夕方、本剤服用。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。	異常-235	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
264	B-05022154	男性	19歳	75mg	ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロトルファン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン クラリスロマイシン バファリンA	激越 落ち着きのなさ	回復	高熱(40.2°C)のため、受診。 咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。 帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38°Cに解熱。 その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。 突然覚醒し、興奮状態(大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど殴る:3~4分間)となり、両手甲部に外裂傷。 3時間半後、体温39°Cになり、精神状態も落ち着く。 翌日、体温37°C、不穏状態、興奮状態は回復。	異常-236	
265	B-06005344	女性	19歳	150 mg	酒石酸ソルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤(4)	自傷行動 健忘	回復 回復	インフルエンザ(診断確定未実施)治療のためにリン酸オセルタミビル の服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、 約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快して いる。	異常-237	
266	B-07007066	男性	19歳	75mg	アセトアミノフェン 葛根湯	異常行動	軽快	前日昼頃、発熱、咳、鼻汁の症状あり。インフルエンザA型と診断され、リン 酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用し帰宅。服用1時間後、うつ ろで状態がおかしかつた。服用4時間後、大声で叫んだり、わめき錯乱し たような状態で、家族の制止聞かず自室からでていこうとするような異常 行動あり、救急車にて搬送。経過観察が必要と判断し即入院。	異常-238	
267	B-05023219	男性	20歳	150mg	不明	躁病	軽快	躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4°C)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻39.7°C内服開 始。 翌朝36°C台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れなかった(躁状 態)。本剤の服用が終了しても、躁状態継続し、歩き回り、入院となる。	異常-239	
268	B-06022861	男性	20歳	150 mg	塩酸プロカテロール	異常行動 過換気	軽快 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。当日、異常 行動、過換気発現。寝ようとしたら急に不安になって叫びだしたりした。 約5時間睡眠後、異常行動軽快、過換気回復。	異常-240	
269	B-07013249	女性	20歳	75 mg	アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシ ン 酪酸菌製剤 ポビドンヨード 塩酸エブラジノン	譫妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザに対して、リン酸セルタミビル処方。服用後、数時間で うわごと、フラフラと無意識に歩行(この段階では高熱状態継続)。服用2 日目、母親、患者の判断により、本剤中止。熱はほぼ平熱に低下。異常 行動は回復。	異常-241	
270	B-07003477	男性	23歳	75 mg	塩酸アンブロキシール 塩酸セファペンピボキシル レバミピド アセトアミノフェン 塩酸モサプラミン リスベリドン 塩酸ビペリデン クロルプロマジン・プロメタジン配合 剤(1) ニトラゼパム カルバマゼピン フルニトラゼパム	異常行動	不明	A型インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン、カルボシステイン、塩 酸セファペンピボキシル、レバミピド、アセトアミノフェン(頓用)処方。精神 病薬を服用している。塩酸アマンタジンからリン酸オセルタミビルに変 更、帰宅し本剤服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命 を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 なお、患者はもともと熱を出すとフラフラする体質で、異常行動を起こす 前にもめまい等起こしている。 (2004年の症例)	異常-242	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
271	B-07013331	男性	23歳	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザ陽性に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始5～6時間後（夕方）に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼんやりと立ってぼんやりしている所を親が発見した。その後、意識は回復。患者はその事を覚えていないとのこと。	異常-243	
272	B-07003186	女性	24歳	150 mg		異常行動 感情不安定	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、熱がさがった。 投与開始2日目、元気になった。夜、異常行動、感情失禁発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自制しようとする意識もあるが、走り出したい自分を止められず、家族に助けを求める。発現1時間後、大声で笑いが止まらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き出す。見当識障害多少あり。 投与開始3日目、朝、ほぼ元通りの人格に戻った。	異常-244	
273	B-06025316	男性	26歳	150 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン ジクロフェナクナトリウム	自殺企図	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、異常行動（自殺企図：マンションの渡り廊下に登ろうとする。何かにおびえた様子で「死んでから謝ろうと思った」と発言）発現。 落ち着いてから話をすると自分のとった行動に記憶があり、当時不安になるような心当たりはまったくないとの由。 翌日、約2時間後に再び異常行動。	異常-245	
274	B-03001089	男性	28歳	75mg	クラリスロマイシン セラペプターゼ 消化酵素 耐性乳酸菌	気分変動	回復	発熱、咳、咽頭痛等有り受診、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与10分後、気分変動有り、何をするか分からない（例えば刃物を振り回すかもしれない）感じがした。玄関の辺りでドアを蹴飛ばしたりした後、倒れていたため、救急搬送される。病院にて処置を受けた後帰宅。その後、症状回復。	異常-246	
275	B-07001666	男性	30歳	150mg	アモキシシリン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。 服用3日目、寝ていていきなり起きあがり包丁を持つ。 服用4日目、寝ていていきなり、道路に飛び出した。 服用5日目、本剤服用中止。 中止1日後、意識清明。	異常-247	
276	B-06025192	男性	32歳	75 mg	葛根湯 ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	発熱あり。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服薬4時間後に錯乱状態となり、自宅2階から飛び降り、足を骨折。 骨折のため、他院を受診、その際意識もはっきりしており、体温も36℃台であった。 4日後、整形外科で手術。 入院中、意識レベル正常、異常行動回復。	異常-248	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
277	B-06026629	女性	32歳	150 mg	維持液(3) アスコルビン酸 スルピリン・アミノプロピロン配合剤 フルスルチアミン 塩酸リンコマイシン	意識消失 健忘 脱毛症	回復 回復 軽快	リン酸オセルタミビル服用3時間後、夜目が覚めて気がついたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。	異常-249	
278	B-07013314	女性	32歳	150 mg		幻覚	回復	インフルエンザに対して(体温は39~40°C)で、リン酸オセルタミビルを服用開始。同日夜、幻覚がみられた。(階段をかけ下りる。)服用3日目、口内炎が発現。本剤中止。その後、幻覚は回復。	異常-250	
279	B-03000831	女性	35歳	150mg	アセトアミノフェン 安息香酸ナトリウムカフェイン 開始液 セフボドキシムプロキセチル 塩化リゾチーム dl-マレイン酸クロルフェニラミン サリチル酸ナトリウム 鎮咳剤 アスコルビン酸・L-システイン カルボシステイン	不安 知覚過敏	回復	発熱(38~39°C)、頭痛、関節痛、咽頭痛、咽頭発赤、不穏状態にて本剤投与開始。 翌日の夜中、不眠、不安発現。服用中止。 翌日、幻覚発現し、来院。その後も興奮状態続き、知覚過敏が発現。その2日後、不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消失。その5日後、回復	異常-251	
280	B-06026663	女性	40歳	150mg	炭酸リチウム パルプロ酸ナトリウム エチゾラム ロフラゼブ酸エチル マレイン酸フルボキサミン	不思議の 国のアリ ス症候群	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。 鳥の姿がみえるなどの幻視もあったが夫に止められ事なきを得た。	異常-252	
281	B-06026707	男性	45歳	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チペビジン 塩酸エピナスチン	意識変容 状態	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。	異常-253	
282	B-07000244	女性	48歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加)(2-2)	錯乱状態	回復	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、朝から何度も外出しようとして家族に連れ戻される。午後より、訳のわからないことを言いはじめる。投与5日目、錯乱状態。	異常-254	
283	B-06004486	男性	49歳	150mg	非ピリン系感冒剤 アスピリン ヒベンズ酸チペビジン リン酸ジメホルファン プラノプロフェン 塩酸セトラキサート	死亡	死亡	期外収縮及び心房細動の患者。発熱、咳、鼻症状、関節痛及び倦怠感があり、インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビルを服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目の夜、家人に気づかれぬまま車で外出。自宅より30km離れた海の岸壁で車が発見され、人が海に落ちた形跡あり。約2ヶ月後、海中より死亡した本人が発見された。	異常-255 死亡-36	
284	B-06028847	男性	49歳	150mg	酒石酸ゾルピデム	自殺企図	回復	1日分処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。	異常-256	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
285	B-05025724	男性	51歳	75mg	アセトアミノフェン アミノ酸・糖・電解質(2-3)	精神症状 自殺既遂	不明 死亡	肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。経過は良好であったが入院7日目に院内でA型インフルエンザに感染。18時頃、両下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的不安を訴えていた。19時頃に本剤服用開始(体温39.2℃ありアセトアミノフェンを本剤とともに服用)。22時の体温は37.3℃。翌朝5時に生存を確認。6時30分病床不在確認、7時39分飛び降りて死亡しているのが発見された。自室のノートに遺書有り。	異常-257 死亡-38	
286	B-07000264	男性	51歳	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	意識変容 状態	回復	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。	異常-258	
287	B-07000076	男性	54歳	75mg	スピロラクソン レボチロキシナトリウム ニフェジピン 塩酸ジルチアゼム フロセミド	異常行動 譫妄 腎不全	不明 不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。 高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとし看護師に制止されるが暴れまくる。 後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたとする当時の記憶はなかった。 服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。腎不全の疑いもあり。異常行動はジアゼパムで鎮静。	異常-259	
288	B-05020017	男性	56歳	150mg		精神症状 (精神症 状)	回復	インフルエンザ治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用4日目、夜分服用し2時間後に精神症状発現。突然うつ状態になり、自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられる。翌日、精神症状回復したが、本剤服用を自発的に中止。	異常-260	
289	B-05024386	男性	58歳	150mg	アミノフィリン リン酸ベタメタゾンナトリウム フロモキシセフナトリウム 維持液(3) プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン 塩酸フェキシフェナジン ファミチジン	意識変容 状態 呼吸困難	回復 回復	A型インフルエンザの確定診断を受け、リン酸オセルタミビルを投与開始初日の夕方と就寝前に服用。投与開始から2日目の午前5時に呼吸苦が発現し、暴れ出した。また、意識障害が発現した。呼吸苦は発現当日に回復し、意識障害は発現翌日に回復した。	異常-261	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
290	B-07000263	男性	58歳	150 mg	酒石酸ゾルピデム 鎮咳配合剤(1) ロキソプロフェンナトリウム デブレン 乳酸リンゲル液(マルトース加) アセトアミノフェン	意識変容 状態 譫妄	回復 回復	B型インフルエンザと診断し、乳酸リンゲル液、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン処方。夜、本剤服用2~3時間後、就寝。服用2日目、朝、本剤服用中止。起床1時間後、意識障害、せん妄発現。患者より、本人の言動がおかしい(知らない人がここにいるとか、何か見るとか幻視がある)との連絡有。起床3時間後、来院。全身の脱力感とせん妄状態あり。沈静目的でフェノバルビタール投与するも改善しないため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査入院依頼。結果、脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。昼過ぎ、点滴除去や院内より脱走する様な異常行動あり、脳外科へ転科。インフルエンザは回復。服用から3日目、意識障害、せん妄回復。	異常-262	
291	B-06025002	男性	59歳	150 mg		異常行動	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動発現。本人に記憶なし。本剤投与中止。本剤服用5日後、症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。	異常-263	
292	B-07019905	女性	60歳	150 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思い、家から飛び出した。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく寝ないようしていた。		2007/10/1以降 新規報告
293	B-07018337	女性	61歳	75 mg	トリクロルメチアジド ロサルタンカリウム ベシル酸アムロジピン メシル酸ベタヒスチン 2339224 アルプラゾラム 酸化マグネシウム ウルソデスオキシコール酸 ファモチジン ポリエンホスファテジルコリン	異常行動	回復	関節痛、鼻炎症状、発熱のため受診。A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用後、横断歩道にて待機中、信号は赤であるにも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。		2007/10/1以降 新規報告
294	B-06025118	男性	64歳	150mg	塩酸アミトリプチリン アロプリノール 沈降炭酸カルシウム アスピリン オメプラゾール マレイン酸エナラプリル ベシル酸アムロジピン アルファカルシドール ポリステレンスルホン酸カルシウム	精神状態 変化	不明	合併症としてうつ病、慢性腎不全あり。発熱(39℃)、倦怠感あり、インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル投与。翌日中、ぼんやりして立ちつくす。夜、不眠、じっとしていられず動き回る。投与3日目、本剤服用中止(計5カプセル服用)。服用終了後5日目、落ち着かない様子あり。服用終了1週間後、「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。服用終了10日目、体調不良を訴える。36.5℃の熱。ボーとしているが、落ち着かない印象あり。夕方、灯油をまき、自殺するつもりでマッチで火をつけたが、すぐに消火され保護される。	異常-264	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
295	B-05018850	女性	67歳	150mg	インフルエンザHAワクチン 塩酸パロキセチン フルニトラゼパム 酒石酸ゾルピデム 塩酸フロキシフェン アセトアミノフェン	劇症肝炎	不明	2日前、インフルエンザワクチン接種。 発熱、咽頭痛より、インフルエンザを疑い本剤5日間投与。 投与終了1日後、急性肝炎疑いで入院。 投与終了5日後、ベットより飛び降りたり、大声で叫ぶ。血漿交換のため 転院。	異常-265	
296	B-06001534	男性	71歳	150mg	塩酸プラソニン メチルドパ ロラタジン ヒベンズ酸チベピジン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸セトラキサート 鎮咳配合剤(1) セネガ	平衡障害 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(38.0℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約2時間後に平衡機能障害が発現し、約5時間後に回復した。初回服用から約5時間後にリン酸オセルタミビルを服用し、約2時間後に異常行動(田植えをしている動作)が発現し、約24時間後に回復した。	異常-266	
297	B-06017551	女性	71歳	150mg	アミノフィリン アジスロマイシン水和物 モンテルカストナトリウム プロチゾラム 塩酸クレンプテロール ファミチジン チアマゾール ブドステイン プレドニゾロン アセトアミノフェン	譫妄	回復	喘息、甲状腺腫の既往歴あり。気管支喘息のため入院後、アミノフィリン、プレドニゾロン投与後、アジスロマイシン水和物を処方。発熱があり、インフルエンザAによりリン酸オセルタミビルの投与開始。4日後夜、失禁、夜間せん妄発現。翌日朝以降症状なし。5日後まで投与継続、インフルエンザ回復。	異常-267	
298	B-05000692	男性	72歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	痙攣 意識変容 状態	回復	38℃の発熱と咳嗽により受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを4日間投与。突然大きないびきと共に暴れ出す。意識障害と痙攣、全身間代性発作発現。7分後発作消失。意識は約1日半後清明となる。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。	異常-268	
299	B-05000875	男性	72歳	150mg	エスタゾラム トリアゾラム 酒石酸ゾルピデム ブロムワレリル尿素 エチゾラム ジアゼパム ワルファリンカリウム 塩酸チクロピジン 塩酸メホルミン マレイン酸トリメブチン シルニジピン	譫妄(せん妄)	回復	脳梗塞、胃痛、不眠症、糖尿病、高血圧の既往症。39℃の発熱があり受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。当日解熱したが、夕食後本剤を服用、同時に常用薬の眠剤も服用。その後せん妄が発現。部屋を引っかき回したように荒らしている。翌朝にはせん妄は回復。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をわずらずよう指示したところ発現せず。	異常-269	
300	B-05024268	不明	74歳	150mg		異常行動 大腿骨骨折 幻覚	未回復 未回復 不明	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始当日に異常行動が発現した。投与開始から3日目にインフルエンザが軽快し、リン酸オセルタミビルの投与が終了した。投与終了翌未明、徘徊。投与終了後から2日目に2階より飛び降りて大腿骨を骨折した。	異常-270	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
301	B-02013397	女性	79歳	150mg	硝酸イソソルビド バルサルタン オメプラゾール 酸化マグネシウム トリアゾラム センノシドA、B センノシド 塩酸パロキセチン水和物 マレイン酸レボメプロマジン	妄想 落ち着きのなさ	軽快	被害妄想顕性化のため入院加療、抑うつ神経症の診断あり。インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル150mg/日5日分を処方。投与3日目未明、意味不明語、妄想、不穏、徘徊あり。他剤投薬により少しずつ精神状態安定化。本剤継続。本剤5日間の投与終了後、3日目に症状軽快し、経過観察中。	異常-271	
302	B-06016893	男性	83歳	150mg	テオフィリン コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム アミノフィリン 維持液(17)	譫妄	回復	慢性腎不全、洞不全症候群、脳梗塞の治療継続中。ペースメーカー留置。発熱、呼吸苦、低酸素血症、炎症反応によりインフルエンザ確定診断を実施。入院後、点滴(コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム、アミノフィリン)及びリン酸オセルタミビルを投与開始。2日目、落ち着きがなくやや興奮気味、せん妄発現、点滴投与中止。3日目夕方よりリン酸オセルタミビル投与中止後、ハロペリドール投与(3日間)。4日目せん妄回復。以降症状なし。	異常-272	
303	B-06025119	男性	83歳	150mg	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン リン酸ジソピラミド アスピリン ワルファリンカリウム 塩酸ドネペジル レボプロキサシン ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	発熱38.2℃。A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与開始3日目、昼前まで寝床にいた。異常行動(家をとび出し、軽トラか何かで家の周りを、数週まわっていた)出現。その後、除草剤を飲んだ。夜、嘔吐とけいれん出現。意識消失。インフルエンザ軽快・回復。	異常-273	
304	B-03008735	女性	85歳	150mg	乳酸リンゲル液 医療用酸素	全健忘	回復	上咽頭粘膜のインフルエンザA抗原陽性と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3日目まで有害事象発現せず。最終投与後未明に失見当識及び病棟内徘徊(但しミオクローヌスはなし)。翌朝も記憶力低下が観察される。患者家族と相談の結果退院後、処置なしで回復。但し、有害事象継続中の記憶は欠如のまま。	異常-274	
305	B-05024865	男性	85歳	150mg	アスピリン 酒石酸イフェンプロジル 塩酸タムスロシン ヒトインスリン(遺伝子組換え) 非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメトルファン スバルフロキサシン ジクロフェナクナトリウム	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快・回復した。投与開始から3日後にせん妄(窓を開けて外へ出るなど)が発現し、せん妄発現から3日目の朝にせん妄から回復した。	異常-275	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
306	B-04027261	女性	90歳	150mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシナトリウム 硝酸イソソルビド アロプリノール 酸化マグネシウム センノシド フロセミド メナテトレノン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 椴皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与（投与開始翌日より入院投与）。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつじつまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。	異常-276	
307	B-05025587	女性	90歳	150mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサトミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6℃)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる（確定診断は行っていない）。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状（大声で幻覚症状を訴える）発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動（外へ出て座っている等）は回復。	異常-277	
308	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用（併用薬は左記のとおり）。入院4日目の夕方、不穏な行動あり（少し認知症の気があった）、その後嘔吐（潜血反応+）あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。	異常-278 死亡-70	
309	B-07013381	女性	94歳	150 mg	アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン 塩酸ベニジピン カルベジロール レバミピド クエン酸第一鉄ナトリウム アゾセミド アスピリン・ダイアルミネート カンデサルタンシレキセチル 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン ピレノキシシン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断し、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、夜間、訳のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまったが、同日、異常行動回復。その後は特に異常行動はなかった。	異常-279	
310	B-07000403	女性	小児	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。 翌日には回復しており一時的であった。	異常-280	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
311	B-07013378	男性	小児	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。	異常-281	
312	B-07000209	男性	青少年	150 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。	異常-282	
313	B-07027776	男性	不明	75 mg		異常行動 出血	回復 不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 1日目の2カプセル目を飲んだところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っていて、気がつくと手から出血していた。知らない間にトイレのタンクを壊していた。水浸しに気づかず。 その後も服用を継続したが、異常行動はなかった。		2007/10/1以降 新規報告